令和8年度

学 力 向 上 プ ラ ン

【後期】

上尾市立尾山台小学校

目　次

１　グランドデザイン

上尾市立尾山台小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」　・・・・・・・ １

２　学力向上を図る取組

（１）各教科の授業における取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

（２）教育活動全体を通じた取組　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
本校の特色ある取組
家庭教育との連携

上尾市立尾山台小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

「確かな学力を身に付け、心豊かにたくましく生きる児童」
○明るい子（すすんであいさつする子、相手を思いやる子）
○考える子（自ら考え行動する子、仲間と共に学ぶ子）
○たくましい子（健康的な生活を送る子、最後までやりぬく子）

学校課題研究主題

「自ら学び、考えを伝え合い、学びを深める児童生徒」

～個別最適な学びと協働的な学びの往還～

学力・学習状況調査の結果

R８全国学力・学習状況調査	R８埼玉県学力・学習状況調査	R７ 上尾市立小・中学校学力調査
・国語、算数ともに平均正答率は全国平均と同程度である。 ・国語の「話すこと・聞くこと」に関する思考力・判断力・表現力等を問う問題の正答率が低い。 ・算数では、「データの活用」において、データを２つの観点から分類整理する問題の正答率が特に低い傾向にある。	・学力レベルの平均は、６年は国語・算数ともに４レベル、５年は国語が４レベル、算数が１レベルそれぞれ伸びている。 ・国語の学力を伸ばした児童の割合は埼玉県の平均を上回っている。算数については、６年のみ埼玉県の平均を上回っている。 ・非認知能力の自己効力感と勤勉性の項目の数値が埼玉県と比較して低い。	・目標値に対して、国語は３つの学年が同程度以上、算数は２つの学年が同程度以上という結果である。 ・算数は、３つの学年が基礎・活用ともに下回っている。まずは基礎・基本の定着を図っていく。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①基礎的・基本的な概念や知識を定着させる力 ②学習・実技に必要な基本技能の習得	③情報を比較・整理し、根拠を持って思考・判断する力 ④目的や相手に応じて考えを構成し、論理的に表現する力	⑤粘り強く課題解決に向かう力 ⑥他者の考えを尊重し、対話を通して協働的に学びを深める態度

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
●帯時間を活用したショートドリルの実施による語彙・計算の定着 ・音読、小テストの実施、フラッシュカードの活用等 ●作業方略を促す手順・手本の視覚化 ・イラストや写真、デジタル教科書の活用 ●ICT 端末を活用した個別最適学習の実施 ・学習ｅポータル等の活用	●思考ツールの活用による情報整理 ・図や表、数直線等 ●発表・記述の型の活用 ・話型 ・記述テンプレート ●見通し・予測を取り入れた思考の意図的設定 ・測定の予測（算数）、結果の予想（理科）等	●「期待感」「安心感」「緊張感」「達成感」がある授業展開 ●努力調整・自己調整のサポート ・具体的な手順やコツの提示 ・毎時間の学習プロセスや結果の振り返り ●比較・共有を深めるペアやグループでの対話

本校の特色ある取組	家庭教育との連携
・確かな学力の育成（個に応じた指導、グローバル教育、アナログ教材とデジタル教材のベストミックス、児童の主体性を伸ばす教育） ・豊かな心の育成（生徒指導、教育相談の視点からの取組、自由遊びや交流時間の充実） ・健やかな体の育成（体力づくりの推進、出前授業・講座の実施）	・家庭学習の取組 ・家庭との情報共有（学校メール配信システム、各種便り、HP、学校公開） ・教育相談日の積極的活用

２　学力向上を図る取組

（１）各教科の授業における取組（低学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①基礎的・基本的な概念や知識を定着させる力 ②学習・実技に必要な基本技能の習得	③情報を比較・整理し、根拠を持って思考・判断する力 ④目的や相手に応じて考えを構成し、論理的に表現する力	⑤粘り強く課題解決に向かう力 ⑥他者の考えを尊重し、対話を通して協働的に学びを深める態度

教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、④	①音読や読書、新出漢字の学習による読み・書きを通して、語彙を増やす。 ④身の回りのことや、生活に学習をつなげて言葉で表現する活動を取り入れる。	
算数	②、④	②生活や学習の中で基礎的な知識（計算、数の構成、等）を繰り返し活用させる。 ④言葉や絵、図などを用いて、自分の考えを表現し、説明したり伝え合ったりさせる。	
生活	③、⑤	③子供の気付きの質を高めるために、対話をする時間を意図的に設ける。 ⑤学習環境を整え、課題解決の見通しをもって活動させる。	
音楽	①、③	①一定のリズムや旋律の面白さなどを意図的に意識させる活動を取り入れる。 ③声や身の回りの音の違いに気付かせる音楽活動（身体表現・リズム遊び）を取り入れる。	
図画工作	②、⑤	②様々な材料に繰り返し触れられる機会の設定を行う。 ⑤試行錯誤し、多様な表現方法を生み出す環境（材料、場の設定）を整える。	
体育	②、⑥	②授業における３０分以上の運動量を確保する。 ⑥互いの動きについて気付いたことを伝え合い、学びを深める。	
英語活動	①、⑥	①歌やチャンツを繰り返し取り入れて、表現や語句に多く触れさせる。 ⑥ペアやグループで親しみやすいコミュニケーション活動を行う。	
特別の教科　道徳	④、⑥	④役割演技やペープサート等を取り入れ、自分の考えを伝え合う時間を設ける。 ⑥最後まで友達の話を聞き、温かく受け止める環境を整える。	

Ａ･･･取組の効果が十分に見られた　Ｂ･･･今後も課題として取り組む　Ｃ･･･取組を見直す

２　学力向上を図る取組

（１）各教科の授業における取組（中学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①基礎的・基本的な概念や知識を定着させる力 ②学習・実技に必要な基本技能の習得	③情報を比較・整理し、根拠を持って思考・判断する力 ④目的や相手に応じて考えを構成し、論理的に表現する力	⑤粘り強く課題解決に向かう力 ⑥他者の考えを尊重し、対話を通して協働的に学びを深める態度

教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	②、④	②国語・漢字辞典を使って語句を調べる機会を多くする。 ④言葉集め等を通して基礎的な語彙力を高め、自分の考えを表現する機会を与える。	
社会	③、⑥	③発表活動の工夫（授業のまとめをノート・新聞・ICT 端末にまとめて発表）を取り入れる。 ⑥グループで自分の考えを発表しながら話し合う場を設定する。	
算数	①、④	①帯時間を活用して計算の定着を図ったり、少人数指導による個別支援を行ったりする。 ④言葉や式、図表などを用いて、自分の考えを表現し、説明したり伝え合ったりさせる。	
理科	④、⑤	④言葉や絵などを用いて、自分の考えを表現し、説明したり伝え合ったりさせる。 ⑤実験や観察を通して比較や結果の予想を行い、見出した問題について興味・関心をもって解決させる。	
音楽	②、④	②歌唱や器楽、リズム活動を繰り返し行わせ、基礎的な技能の定着を図る。 ④音楽を聴いて感じたことや気付いたことを、言葉で表現させる活動を取り入れる。	
図画工作	③、⑥	③多様な表現方法が取れるように、材料を選択・活用する場を意図的に設定する。 ⑥ペアやグループでの対話を行い、作る活動を取り入れる。	
体育	②、③	②授業における３０分以上の運動量を確保する。 ③児童が問いを持ち、考えた動きを試行錯誤しながら安全に取り組める場の設定をする。	
外国語活動	①、⑥	①歌やチャンツ、ゲームを通して身近な英語表現に慣れ親しませる。 ⑥ペアやグループで親しみやすいコミュニケーション活動を行う。	
特別の教科　道徳	④、⑥	④ネームプレート等を活用し、自分と友達の考えの違いを比べながら、意見を伝え合う時間を設ける。 ⑥立場や理由の違いを可視化し、友達の意見の良さを認めさせる。	
総合的な学習の時間	④、⑥	④友達や地域の方などと交流させる。 ⑥体験を通して得たものを共有しながら考え、話し合わせる。	

Ａ･･･取組の効果が十分に見られた　Ｂ･･･今後も課題として取り組む　Ｃ･･･取組を見直す

２　学力向上を図る取組

（１）各教科の授業における取組（高学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①基礎的・基本的な概念や知識を定着させる力 ②学習・実技に必要な基本技能の習得	③情報を比較・整理し、根拠を持って思考・判断する力 ④目的や相手に応じて考えを構成し、論理的に表現する力	⑤粘り強く課題解決に向かう力 ⑥他者の考えを尊重し、対話を通して協働的に学びを深める態度

教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、④	①帯時間を活用して漢字や語彙力を鍛える問題に取り組ませる。 ④読書に親しみ、多くの文章に触れることによって語彙力を向上させ、自分の思い・考えを表現する機会を与える。	
社会	①、③	①板書計画やワークシートを工夫し、視覚的にも社会的事象の関係・構造を分かりやすく捉えられるようにする。 ③課題に対するまとめや授業の振り返り、単元のまとめなど、自分の言葉でまとめ、考えを深めさせる。	
算数	①、③	①単元のまとめに、自分の学力に応じた問題に取り組ませる。 ③見通しで既習事項を確認し、自力解決で自分の考えを持てるようにさせる。	
理科	④、⑥	④実験結果から考察を深め、自分の考えを表現し、説明したり伝え合ったりさせる。 ⑥１つの実験を少人数で実施し、全員が協力して実験・観察ができるようにさせる。	
音楽	②、③	②楽曲に合った歌い方や演奏の仕方を工夫させ、表現する活動を設定する。 ③音楽を聴いて感じたことや気付いたことを基に、表現の工夫について考えさせる活動を取り入れる。	
図画工作	②、⑤	②単元で身に付けさせたい技法に取り組ませるとともに、既習事項を確認し、多様な表現方法が取れる機会を与える。 ⑤実態に即した児童主体の授業展開を行う。	
家庭	①、⑤	①ICT 端末を活用し、縫い方等の手本を示す。 ⑤学習支援ボランティアを活用し、児童の学習意欲を高めさせる。	
体育	②、③	②授業における３０分以上の運動量を確保する。 ③多様な動きができる、確かめができる、運動の特性が味わえる等の場づくりの工夫を行う。	
外国語科	④、⑥	④「目的・相手・状況」を明確にしたパフォーマンス課題の設定を行う。 ⑥ペアやグループワークを取り入れ、互いに自分の表現をブラッシュアップできるようにする。	
特別の教科　道徳	④、⑥	④多面的・多角的な視点から議論する時間を設ける。 ⑥多様な意見を比べ合い、より良い自己の生き方を共に探求させる。	
総合的な学習の時間	④、⑥	④友達と協力させたり地域の方などと交流させたりする。 ⑥体験を通して、得たものを共有しながら対話を通して協働的に学びを深めさせる。	

Ａ･･･取組の効果が十分に見られた　Ｂ･･･今後も課題として取り組む　Ｃ･･･取組を見直す

（２）教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組	
○個に応じた指導	・少人数指導、ティームティーチング、コース別学習の導入
○グローバル教育	・ＡＬＴの活用によるＥｎｇｌｉｓｈ　ｃａｆé（英語で遊ぼう）、ＧＥＴスピーチタイムの実施
○アナログ教材とデジタル教材のベストミックス	・ＩＣＴ端末、学習ｅポータル、授業支援クラウドの適時適切な活用
○児童の主体性を伸ばす教育	・単元内自由進度学習の実施
○生徒指導、教育相談の視点からの取組	・褒める教育「スクールワイドＰＢＳ」による児童へのより良い行動支援 ・ほっとルーム（教育相談室）を活用した関係諸機関との連携
○自由遊びや交流時間の充実	・ロングのびのびタイム（ロング昼休み）、ＧＥＴタイム（縦割り班活動）、おや小集会（全校集会）の設定
○心身の健全育成	・青空タイムを活用した体力づくりの推進 ・保健内容の出前授業・講座の実施（専門職の活用）
○家庭・地域連携	・おや小応援団による協力体制の充実 （学校図書館整備・読み聞かせ・防犯見守り・校内環境美化・学習支援） ・見守り活動の充実
家庭教育との連携	
○家庭学習の取組	・学習時間の目安を「３０分以上」と設定 ・宿題の確実な提出習慣（家庭学習の習慣）の定着 ・ＩＣＴ端末の活用（学習ｅポータル等）
○家庭との情報共有	・尾山台小学校ステップアッププランの活用 ・学校メール配信システム「さくら連絡網」の活用 ・各種便り、学校ホームページを通した情報発信 ・ＰＴＡオープンミーティングによる話し合いの場の設定 ・学校公開週間（年３回）
○教育相談日の活用	・児童の学校生活（学習・人間関係）について相談できる日を設定（毎週金曜日）